

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 25日

中施策事業名	社会福祉推進事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な主体者と福祉の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・社会福祉の調査及び統計に関すること ・犯罪被害者に関すること ・社会福祉法人 監査に関すること ・地域福祉計画に関すること ・自殺予防対策に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
医療や福祉施設、 制度の利用者の満足度※	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	63	64	65	67.7	0	0
	実績値	56	60.6				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				1,357千円	78千円	
	a 事業費合計			1,357千円	78千円	4,452千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			1,357千円	78千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				20 円	1 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 主な事業については「地域福祉計画等」及び「いのち支える計画」にかかげる取り組みに対する進捗状況や実績を踏まえ、実施をした。その中でも重点施策である「「あいさつ」から始まる、つながりあえる地域づくり」については、「あいさつ運動」として、積極的な「あいさつ」を推進し、お互いの顔が見え人と人がつながることができ、安全・安心に暮らすことができる”まち”とよあけに寄与することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和2年度から令和6年度を計画期間とする「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」に位置付けられた施策体系に基づいた取組内容について、評価・分析し、次期計画の中で適切なものとなるよう反映していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	計画の中で位置づけた取り組みについて、継続して評価・分析をする中で事業を進め、つながりあえるまちを継続していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 14日

中施策事業名	障がい福祉推進事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる		
④中施策事業の対象	障害者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障害福祉サービス事業者等と連携し、多様な主体と障がい福祉の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・障害者福祉計画等に関すること ・障害者の就労に関すること ・虐待防止に関すること ・障害者差別解消法に関すること ・障害者理解促進事業に関すること ・障害者スポーツ振興事業に関すること ・災害時要支援者に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内障害福祉サービス事業所の数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	31	34	42	43	53	0
	実績値	52	56				
単位	箇所						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				215千円	3, 071千円	
人 件 費	a 事業費合計			215千円	3, 071千円	440千円
	正規職員 非常勤一 般職員等 (事業費に含む) 人件費合計	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		人数	0 人	0 人		
		金額	0千円	0千円		
					0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				215千円	3, 071千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				3 円	45 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 次年度からの計画である「第４次豊明市障害者福祉計画」等について、障がい者ニーズの把握を行いながら、障がいのある方がいきいきと安心して生活できる地域社会の実現をめざした計画として策定した。また、障害者の就労に関することは、障害者の進路説明会を就労系事業所と連携して行うなど情報提供を行った。このほか、障害者スポーツ振興事業として、レクボッチャ大会を開催し、世代や障がいの有無を超えた交流を図り、障がい者の理解促進の機会を図った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和６年度から令和１１年度を計画期間とする「第４次豊明市障害者福祉計画」及び「第７期豊明市障害福祉計画・第３期豊明市障害児福祉計画」に位置付けられた施策体系に基づいた取組内容について評価・分析し、「誰もがいきいきと暮らす福祉のまち」を実現していくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、計画に位置付けられた取組内容を評価・分析しながら、障がい者福祉施策を推進していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 16日

中施策事業名	障がい福祉サービス事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する		
④中施策事業の対象	障がいを持つ市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいがあっても幸せを実感できる生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 各種障害者手帳に関すること ・ 各種障害者手当に関すること ・ 障害福祉サービスに関すること(認定審査会、支払、支給決定等) ・ 地域生活支援事業に関すること(日常生活用具、移動支援、日中一時支援等) ・ 精神障害者の入院に関する市長同意に関すること ・ 補装具に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい福祉サービス支給決定数（18歳以上）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	445	450	450	455	460	0
	実績値	479	525				
単位	人						
自分の働き方に満足している障がい者の割合※	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	71.6	72.8	74	75.9	76	0
	実績値	69.7	68.1				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				1, 346, 357千円	1, 489, 237千円	
	a 事業費合計			1, 346, 357千円	1, 489, 237千円	1, 563, 916千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				825, 880千円	966, 125千円	825, 880千円
③ コスト (①－②)				520, 477千円	523, 112千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				7, 563 円	7, 601 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、全体では増加傾向にある。（令和5年度：3,695人） また、障がい福祉サービスの利用実績も、増加傾向にある。これは利用者数、一人当たりの利用量ともに増加傾向にあり、特にニーズが高いのは、就労継続支援と共同生活援助となっている。 なお、自分の働き方に満足している障がい者の割合は、横ばい傾向となっている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	特に共同生活援助（グループホーム）については、利用者が増加傾向にあることから、さらなる拡充を図ることが求められている。 障害を持つ人が高齢になっても、また親亡き後の受け皿としても、安心して暮らすことができるようサービスの拡充に努めていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き障害福祉サービスの有様について、サービスの実績と見込量を注視していくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	障がい者相談支援事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する		
④中施策事業の対象	障がいを持つ市民及び家族		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	相談支援を通して課題解決に向けて自立的に行動をとることができる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・精神障害福祉関係会議に関すること ・相談支援事業に関すること ・自立支援協議会に関すること ・事業所指定に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい者基幹相談 支援事業委託の相 談件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	9,100	9,100	9,150	9,200	9,200	0
	実績値	9,007	9,490				
	単位 件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				22, 165千円	22, 200千円	
人 件 費	a 事業費合計			22, 165千円	22, 200千円	31, 909千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				6, 331千円	6, 639千円	8, 958千円
③ コスト (①－②)				15, 834千円	15, 561千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				230 円	226 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 年間相談件数は増加しており、目標値は達成された一方で、相談支援は、相談内容が多岐にわたり、調整時間も増加し、相談員一人に係る仕事量は増加している。このような中であっても、さまざまな複雑かつ複合的な課題を持つ家庭の相談を受け問題解決できるよう、相談支援事業所連絡会でケースについて話し合うなど、相談支援体制の強化と関係機関との連携強化を図った。障がい福祉サービス未利用者のニーズ調査を行い、必要な情報提供を行うとともに親の高齢化による不安や将来への不安を軽減する支援を行っている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	障がい者基幹相談支援センターフィットが地域生活支援拠点に位置付けられた相談支援事業者として、情報連携等を担うコーディネーターの役割を担ってもらうとともに、地域移行支援相談事業を推進する。相談支援事業はサービス利用の要であり、きめ細やかなサービス利用調整が行えるよう、一層の人材育成に努めていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	障がい者基幹相談支援センターフィットと連携しながら、地域における障がい者支援が円滑に進むよう引き続き連携を図っていく中で、障がい者の求めるサービスを提供していくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 17日

中施策事業名	社会福祉協議会関連事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域福祉の向上を図ることで、住み慣れた地域で安心して暮らすことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 社会福祉協議会及びその他福祉団体に関すること ・ 総合福祉会館の管理に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ボランティア団体としての活動総人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100	0	0
	実績値	1,897	1,961				
単位	人						
福祉会館の利用者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	25,000	25,000	26,500	26,500	0	0
	実績値	18,849	17,992				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費(a+b)				72,779千円	72,301千円	
	a 事業費合計			72,779千円	72,301千円	69,438千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				72,779千円	72,301千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				1,058 円	1,051 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 社会福祉協議会及びその他福祉団体に関することでは、各団体への補助金等の活用により、地域住民の安心な暮らしのため地域福祉の向上を図ることができた。一方で、評価指標の目標の達成状況については、目標値に届いていないものの、前年度比較において、評価指標の実績値は増加となっている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	継続して地域での人と人とのつながりをつくるために社会福祉協議会による、サロン事業や地域と連携した事業の推進を図っていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き社会福祉協議会と連携を図る中で、各事業を推進していくこととする。また、老朽化の進んでいる総合福祉会館については、利用者が快適に利用できるように公共施設管理課とも調整し、必要な改修・修繕等を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 29日

中施策事業名	民生委員、児童委員関係事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び民生児童委員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	民生委員が住民の身近な相談先となることで、市民が安心して暮らすことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 民生児童委員に関すること ・ 民協福祉広報部会に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域から孤立していないと思っている市民の割合※	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	82	84	86	87	0	0
	実績値	78.6	78.7				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10, 615千円	10, 490千円	
	a 事業費合計			10, 615千円	10, 490千円	10, 608千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				5, 978千円	5, 928千円	5, 978千円
③ コスト (①－②)				4, 637千円	4, 562千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				67 円	66 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 民生児童委員に関することでは、各民生児童委員の日々の見守り活動等により、地域でのつながりづくりの役目を担うことができた。また、令和4年度から再開した「チャリティバザー」を本年も実施した。さらに、愛知県社会福祉協議会主催の各動画研修に参加するように呼び掛け、ほとんどの委員が受講することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市内全域での民生児童委員活動を充実させるため、さまざまな研修機会を確保していく。加えて、愛知県社会福祉協議会主催の各研修等にも気軽に参加できるよう、研修の在り方を工夫していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	民生児童委員活動のより一層のレベル向上を図るため、愛知県社会福祉協議会主催の委員向けの各研修等は積極的に参加するようにし、受講する体制の面でも各委員の方が参加しやすくなるよう工夫していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 26日

中施策事業名	社会福祉団体事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び社会福祉団体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	社会福祉団体の活動を支援することで、地域福祉が向上し、暮らしやすさが向上している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・日本赤十字社に関すること ・保護司会に関すること(社会を明るくする運動)		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
社会を明るくする運動の啓発のための市民動員	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	600	600	600	600	0	0
	実績値	800	0				
単位	人						
社会を明るくする運動記念講演会参加者	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				809千円	776千円	
	a 事業費合計			809千円	776千円	826千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①ー②)				809千円	776千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				12 円	11 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 日本赤十字社や保護司会に関することでは、事務局として各社会福祉団体の活動を支援することで、地域福祉の向上を図ることができた。社会を明るくする運動に関する各事業も計画どおり実施することができた。また、日本赤十字社の街頭キャンペーンについては、市内商業施設にて実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	日本赤十字社の街頭キャンペーンについては、規模を拡大して実施することでより一層の周知啓発を図る。また、保護司会関係では、3市1町で組織される「愛知保護区保護司会」全体の事務局が令和5年度に引き続き令和6年度においても豊明市が当番市となる。各自治体と連携を図りながら、地域福祉の向上を図っていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、各自治体との連携を図りながら、各福祉団体の安定的な活動を支援していくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 17日

中施策事業名	障がい福祉団体事務	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民及び障がい福祉団体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がい福祉団体の活動を支援することで、障がい者及び家族が活発に交流することができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 各種団体に関する補助金・委託に関すること ・ 民協障がい者福祉部会に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
豊明市心身障害者児福祉連合会の会員数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	235	235	235	235	235	0
	実績値	185	131				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				6,621千円	6,278千円		
	a 事業費合計			6,621千円	6,278千円	7,132千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			6,621千円	6,278千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			96 円	91 円			

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B レクボッチャ大会を障がい福祉団体に委託し実施し、世代や障がいの有無を超えた交流を図り、つながりあえる地域づくりの推進を図った。民協障がい者福祉部会では、福祉団体が実施するオリエンテーリング大会やクリスマス会にボランティアとして参加し、障がい者やその家族が活発に交流できるように支援した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	障がい者理解が進む事業や障がい者の支援につながる事業を団体へ委託し、障がいのある方が地域の人とつながり、多様な人が交流を深めることで、地域で支えあえる環境づくりを検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	地域での交流が障がい者理解につながるような活動支援を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 25日

中施策事業名	生活困窮者等扶助事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	経済面で困窮したり、障がいや疾患により支援が必要な状態になっている市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	相談事業を通して適切な情報提供を受けることができ、就職や支援につなげることで安心して生活できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 生活困窮者自立促進支援事業に関すること - 生活困窮者学習支援事業に関すること - 子どもの貧困対策事業に関すること - 包括的就労推進事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
就労相談による就職実績の向上（就労相談者÷実就労者数）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	70	70	70	70	0	0
	実績値	61.9	57				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				104, 478千円	712, 218千円	
	a 事業費合計			104, 478千円	712, 218千円	39, 454千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				40, 441千円	30, 213千円	0千円
③ コスト (①－②)				64, 037千円	682, 005千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				931 円	9, 910 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 5年度においては、「非課税世帯臨時特別給付金」等の支給があり決算額は増加しているが、国の方針に基づき迅速に給付することができた。「包括的就労支援事業」として、働きたいを応援するための相談や就労支援、また生活困窮者自立支援として、家計のことなど暮らしの困りごとの相談を受ける中で支援策を検討するほか、引きこもり相談窓口を開設することで、一人ひとりに寄り添った相談支援を社会福祉協議会と連携して対応を図っている。さらにこどものいる生活困窮家庭に対する物資配布、学習支援等のこどもの貧困対策として事業を実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生活をするうえで、様々な困難を抱える人が地域で自立した生活が送れるよう引き続き一人ひとりに寄り添った相談を適切に行っていき、相談者にあった必要な支援につなげていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	これまでの事業を継続して実施していく中で、適切な支援につなげていくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 23日

中施策事業名	生活保護扶助事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	生活保護法による被保護家庭		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生活保護法による扶助の給付を行うことで、最低限度の生活を保障する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・生活保護の相談に関すること ・保護費支給に関すること ・医療券、介護券の発行、点検に関すること ・資産、年金、収入等の調査事務に関すること ・就労支援事業に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
後発薬品使用率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	75	75	75	75	0	0
	実績値	84.2	82.5				
単位	%						
被保護者数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	380	380	380	380	0	0
	実績値	316	345				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				618, 296千円	694, 230千円	
	a 事業費合計			618, 296千円	694, 230千円	594, 216千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				489, 113千円	518, 791千円	460, 367千円
③ コスト (①－②)				129, 183千円	175, 439千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 877 円	2, 549 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 生活保護費の支給状況は前年度と比較して増加している。この大きな要因の一つとして、医療扶助費の増加を挙げることができる。生活保護受給者が増加している状況にある中で、愛知県労働局と連携を図り、生活保護を受けることなく、自立することが可能となるよう就労支援を行った。 このほか、生活に困窮する方の相談に応じ、相談者が抱える課題を包括的に受け止め、必要な情報提供及び助言を行うなど生活の自立に向けた支援を行った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き、社会福祉協議会に委託する「生活困窮者自立支援事業」の実施に加え、一般社団法人JAWSに委託する「包括的就労推進事業」により、生活の自立に向けた支援等を行うこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	生活に困窮する方の相談に応じ、相談者が抱える課題を受け止める中で、必要な情報提供及び助言を行っていくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 23日

中施策事業名	重層的支援体制整備事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民の複合的・複雑化する生活課題に包括的に対応できる福祉体制の整備がされている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 重層的支援体制整備 ・ 地域共生社会推進事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
多機関で実施した 会議数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	25	30	32	35	0	0
	実績値	20	17				
単位	回						
支援が必要になった 時に活用できる サービスを知って いる市民の割合 ※	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	45	53	61	69	0	0
	実績値	42.4	44.1				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				8,984千円	33,007千円		
	a 事業費合計			8,984千円	33,007千円	34,951千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				5,645千円	16,312千円
③ コスト (①－②)				3,339千円	16,695千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				49 円	243 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 複雑化する課題の早期発見及び包括的なサポート体制を図るため、社会福祉協議会に委託し、高齢者・子ども・障がい者・生活困窮者等の枠組みを超えた相談を受け止め、それぞれの立場からなる相談先とのコーディネートを行う中で、課題対応を行ってきた。加えて、福祉的な課題を抱える方を、公的制度のみならず、地域のあらゆる力で支えていくため、参加の場づくりや生活支援、つながり支援などの社会支援づくりを進めてきた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	複雑かつ複合化した福祉課題を抱えた方を包括的に受け止め、伴走支援を行いつつ、適切な支援につなげていく体制を構築するため、新たに「重層的支援センター」を設置し、①包括的相談支援②参加支援③地域づくり④アウトリーチを通じた継続的支援⑤多機関協働の5つの事業を効率的に進めていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	福祉的課題を抱える当事者との信頼関係が構築できたか、支持する専門職等が支援しやすくなったかなどのことを評価し、適切な支援につなげていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 1日

中施策事業名	障がい児福祉サービス事業	部課名	健康福祉部・地域福祉課
		作成者	小野寺 良夫
①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする		
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や居場所を利用することで発達を促し、個性を伸ばすことができる。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 児童障がい児サービス事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
障がい児福祉サービス事業利用件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	150	420	430	430	430	0
	実績値	392	387				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費(a+b)				437,460千円	517,416千円	
	a 事業費合計			437,460千円	517,416千円	514,523千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				341,325千円	351,894千円	424,404千円
③ コスト（①－②）				96,135千円	165,522千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				1,397 円	2,405 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 障がい児福祉サービスの利用児童数は増加傾向にあり、それに伴い費用も増加している。利用児童数については、特に放課後等デイサービスの占める割合が大きなものとなっている。 また、令和5年度においては、放課後等デイサービスの事業所が1事業所増え、市内全体では16事業所が開設されている状況となっている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	放課後等デイサービスの事業所の確保と質の向上に向けて、各事業所と連携強化を図っていくこととする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続きサービスの質の確保に向けて、事業所連絡会を開催し、話し合いの場を設けていくこととする。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等